

建築を広く 時には深く

配布資料用 抜粋

深尾 精一

2026年 10月 21日

システムや寸法調整は
建築の設計にとって
邪魔になる制約か
発想の手助けか

2026年 10月 21日

内田祥哉研究室における大学院生活

学校建築の建設方式

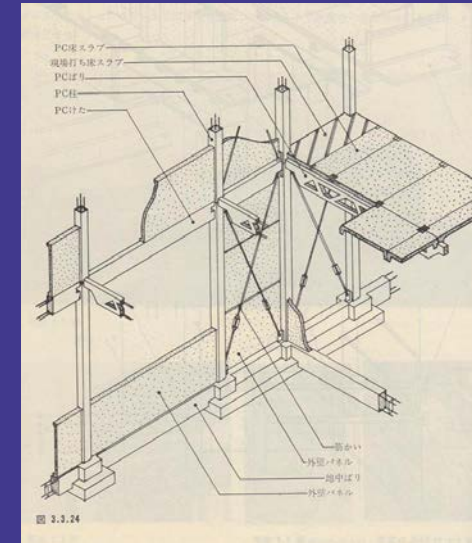
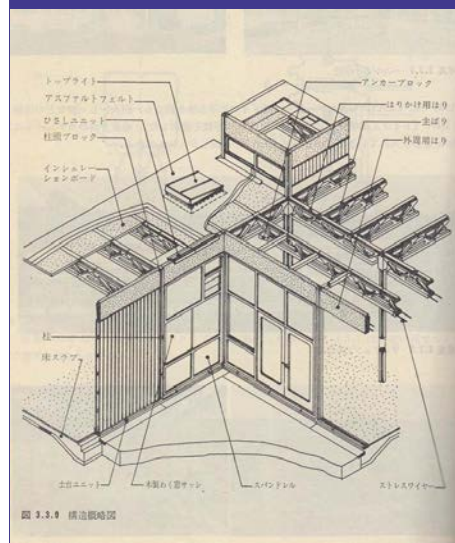
システムズビルディング

モデュラー・コーディネーション

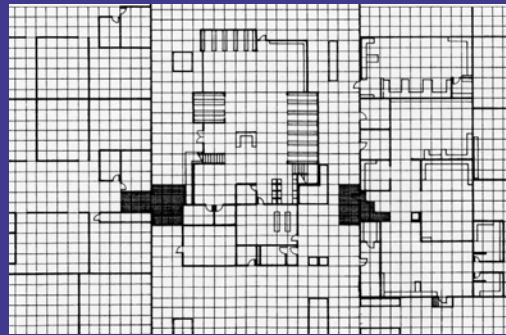
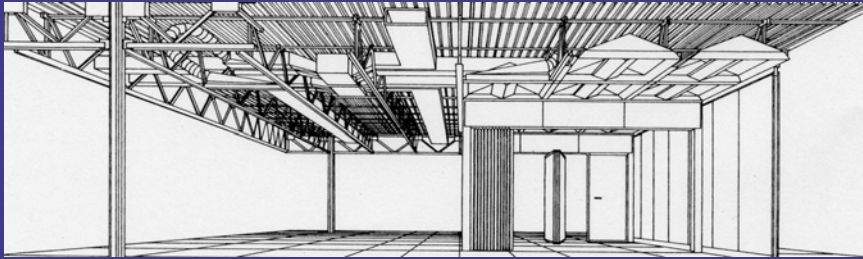
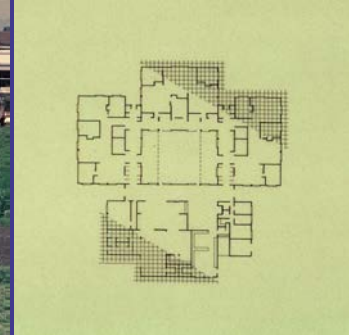
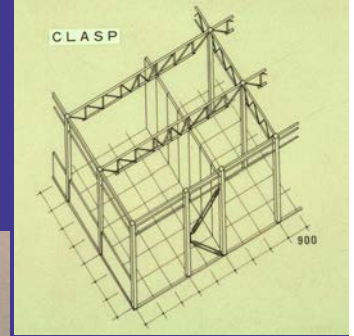
集合住宅の部品化

1971年 ~ 1976年

海外事例 アーノルド中学校 田辺平学のプレコン



SCSD システムズビルディングの考え方の日本への導入

CLASP :
Consortium for
Local Authorities
Special Program教育施設開発機構（現文教施設協会）RIEF設立
1971年 文部省と建設省による

GSKシステムの開発（サブシステム開発）

900mmグリッドによるシステム開発

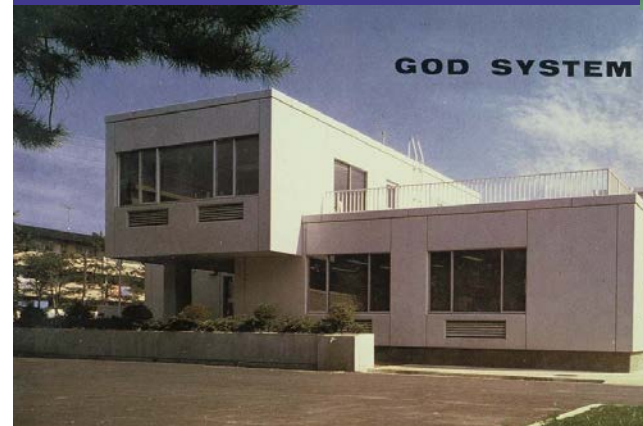
新日本製鉄 鹿島建設
大建工業 日立照明
日米パーティション他

村上高校 1977年
（八千代台東高等学校）



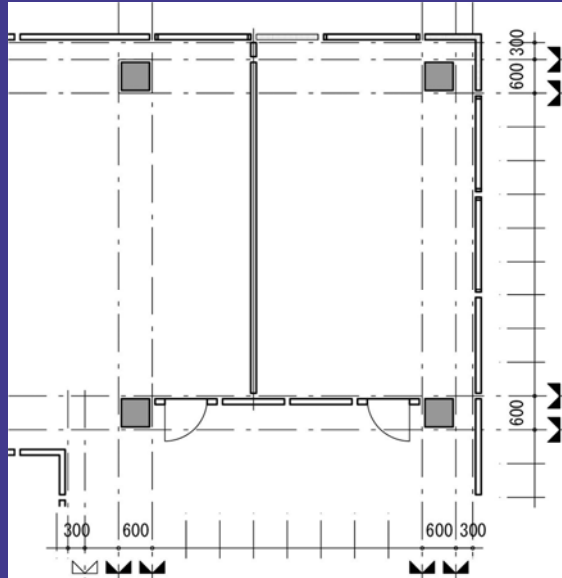
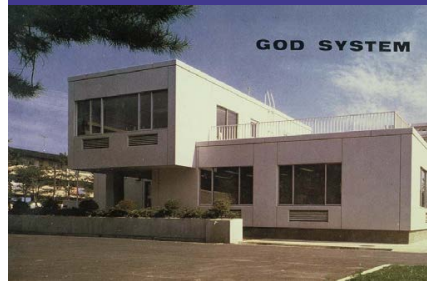
GODシステムの開発

建設省官庁営繕部による
システムズビルディング開発



1975年
～1977年

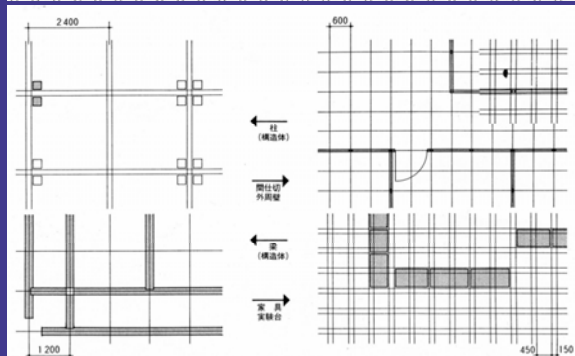
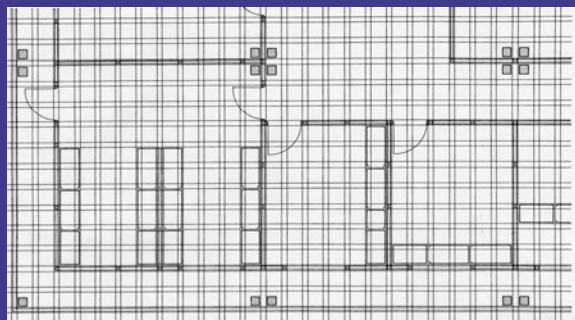
GODシステムの開発

建設省官庁営繕部による
システムズビルディング1975年
~1977年

GODシステムの展開

サブシステム開発
7つのサブシステム

1977年~1981年

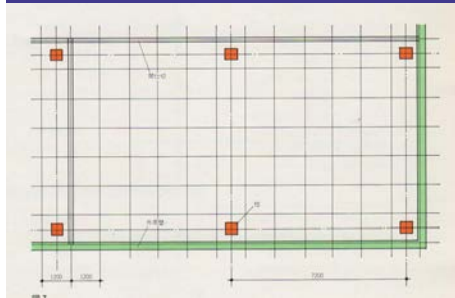
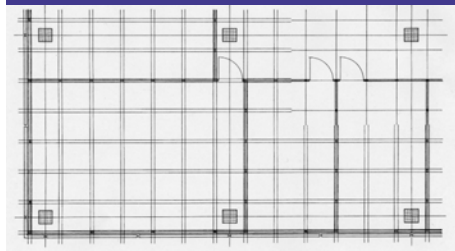
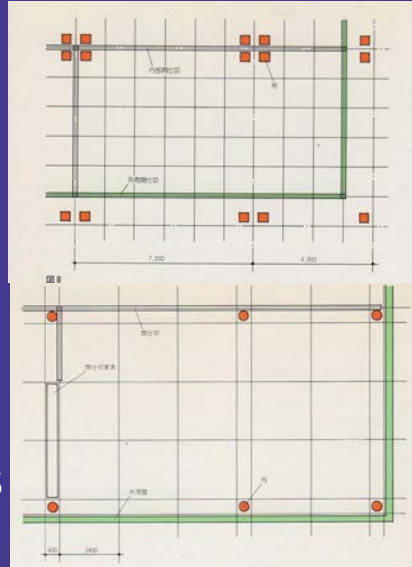
Marburger
Bausystemマールブルグ大学
の建設システムインテグレート
されたグリッド構造のグリッド
内装のグリッド
タータングリッド巨大なキャンパスを
一つのシステムでMarburger
Bausystem

システムは高度だが

1973年撮影



ホッホティーフ社のシステム P. ズルツァー教授 プレキャストコンクリート柱梁学校建設システム

⇒
CROCS

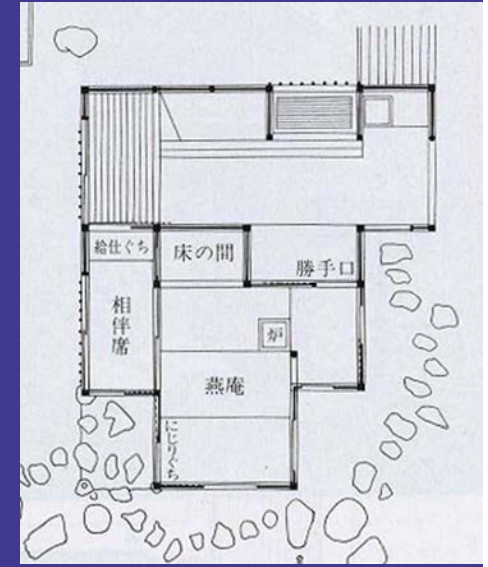
早川正夫建築設計事務所に1年間所属

週一回出勤し
茶室起こし絵図集から
統一した平面図を
描き起こす

茶室の勉強
文章の勉強

後に沓掛の家
黄金の茶室へ

1976年 一年間



宮城県沖地震 伊豆大島近海地震 発生

体育館の天井落下を
学会構造分野で報告

東日本大震災で天井
落下が注目される

1978年 1月 14日



構法システムの 開発・試作

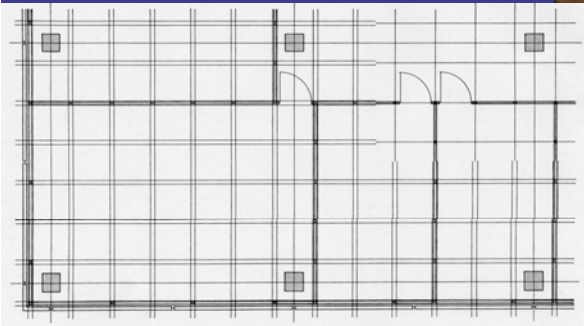
内田研究室と共同
GUP10

1982年~1984年



沓掛の家

柱のグリッドと
天井の格子をずらす



システム天井
の研究から発想

黄金の茶室 復元の手伝い

MOA美術館蔵

1982年



南蛮渡来の囲われた空間

1987年

ドイツ滞在時の
講演から展開し
新建築誌に掲載

南蛮渡来の囲われた空間

茶室のルーツを推理する
深尾精一



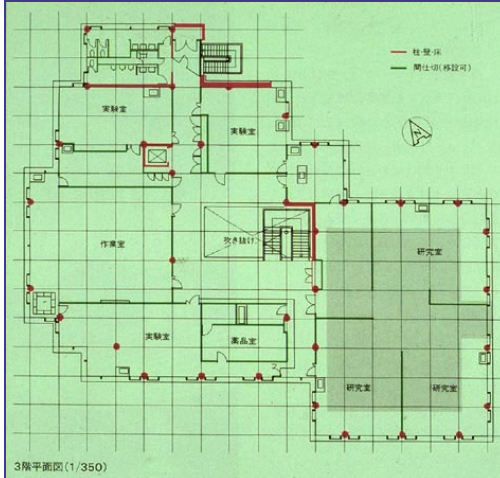
武蔵大学科学情報センター

内田祥哉+集工舎+深尾精一

1988年



武蔵大学科学情報センター



武蔵大学科学情報センター

間仕切りシステム

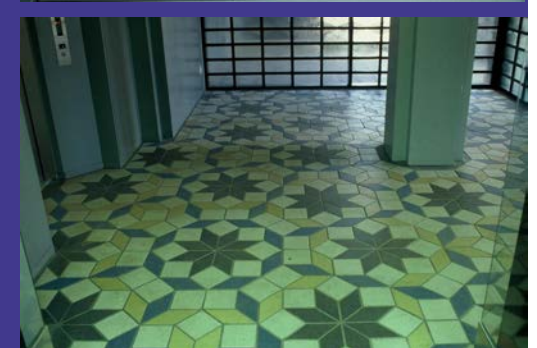
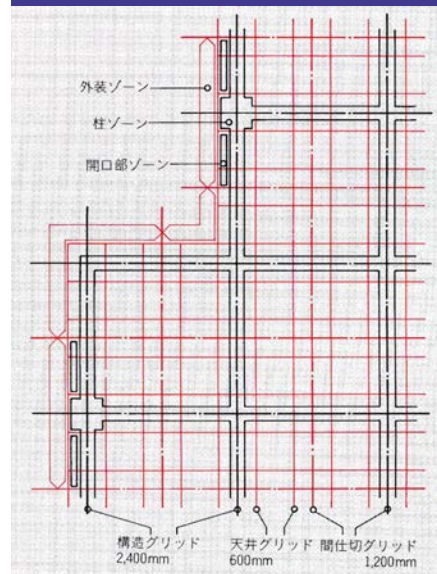


武蔵大学科学情報センター

天井システム

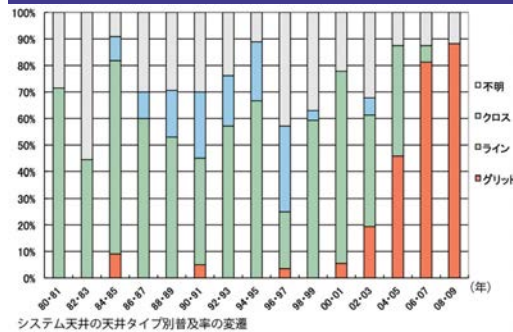


武蔵大学科学情報センター



武蔵大学科学情報センター

2010年
首都大
忠快仁 卒業論文
システム天井の変遷

実験集合住宅 NEXT21
1990年～ 1993年

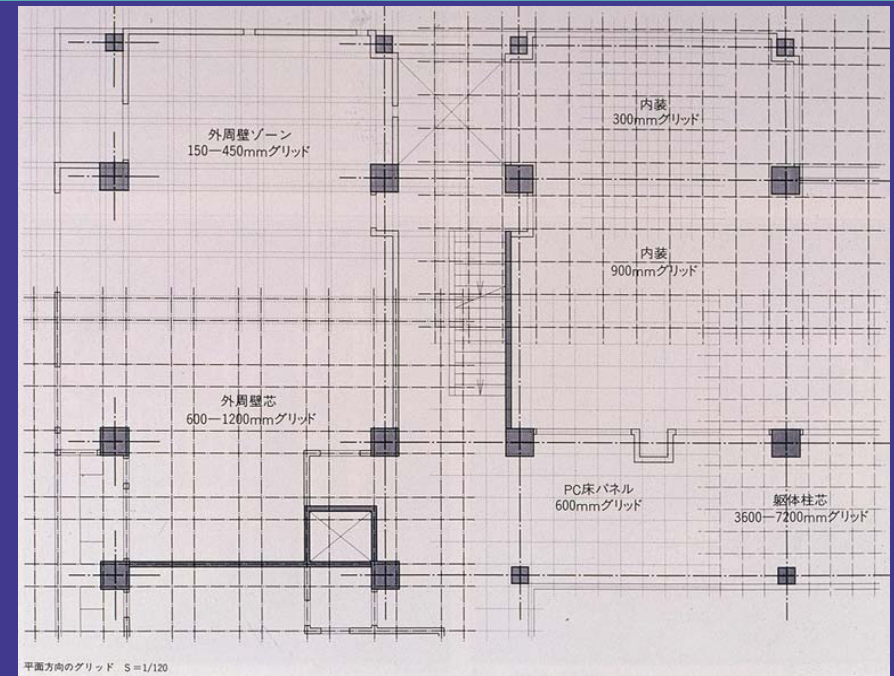
NEXT21
建設委員会

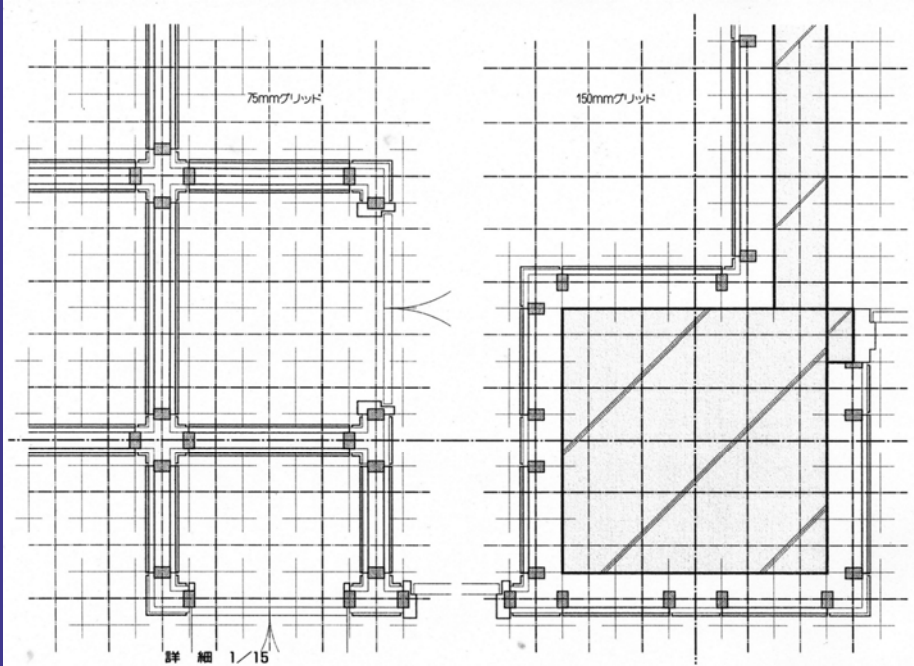
内田祥哉
巽 和夫
深尾精一
高田光雄
近角真一
高間三郎



実験集合住宅 NEXT21

1993年





軽井沢朗読館 2009年

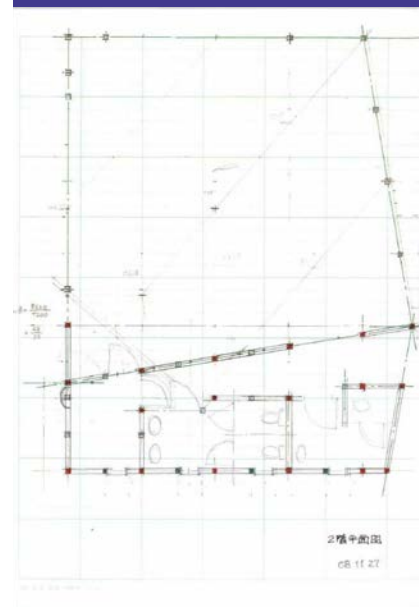


軽井沢朗読館

森の中に佇む朗読の
ための専用ホール
限られた予算
在来木造構法 2009年



軽井沢朗読館



軽井沢朗読館



軽井沢朗読館



初めての設計

父が勤務の会社に出入りの大工さん
図面が読めない人

在来木造構法のシステム性
部材の再利用

1975年 設計



両親の家

1975年 設計



サーキュラー・ソサエティ

循環型社会に向けて 古材の再利用

建築材料の再利用が求められる時代

部材の寸法などシステム化されている
日本の木造住宅の優位性を活かすべき

両親の家

1975年 設計



両親の家

1975年 設計



両親の家

1975年 設計



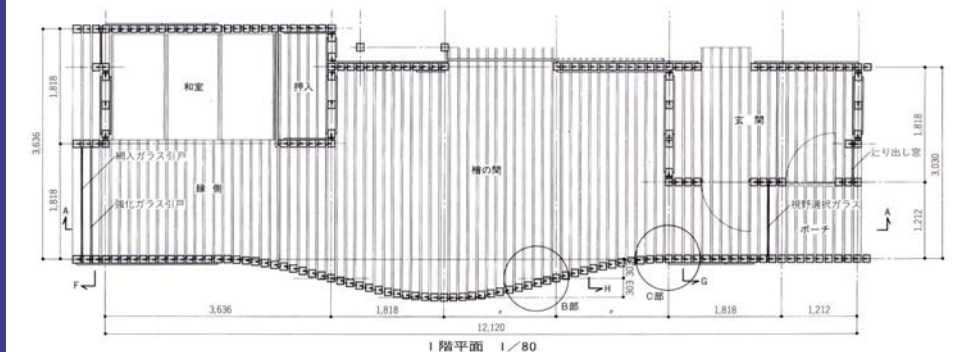
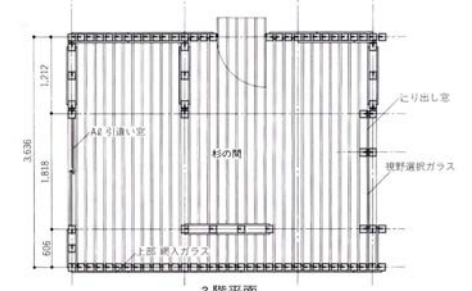
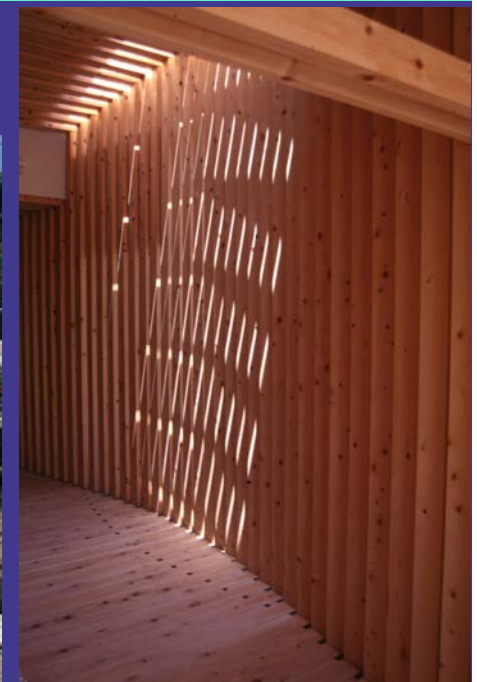
繁柱の家 1996年

4寸角国産柱材を用いて
木造在来構法の建て方で

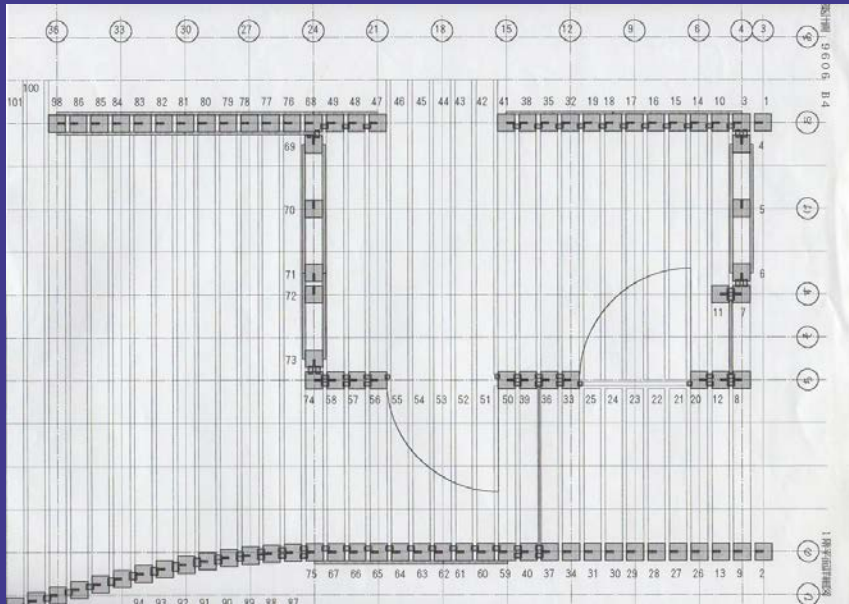


繁柱の家 1996年

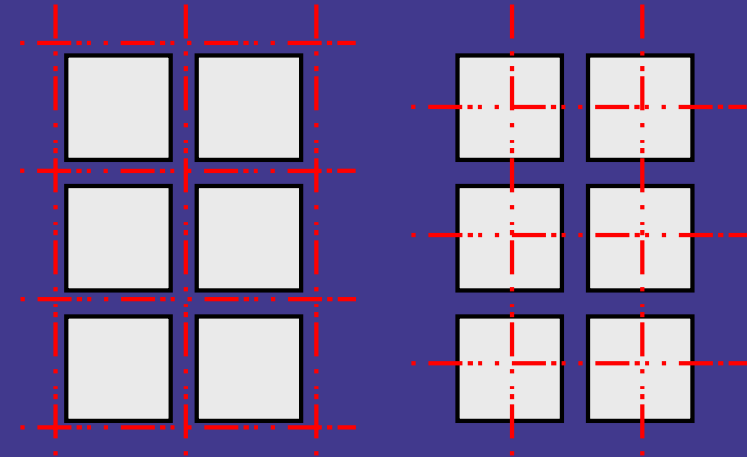
自宅の増築 作品選奨



繁柱の家 グリッドプランニングでサインカーブを

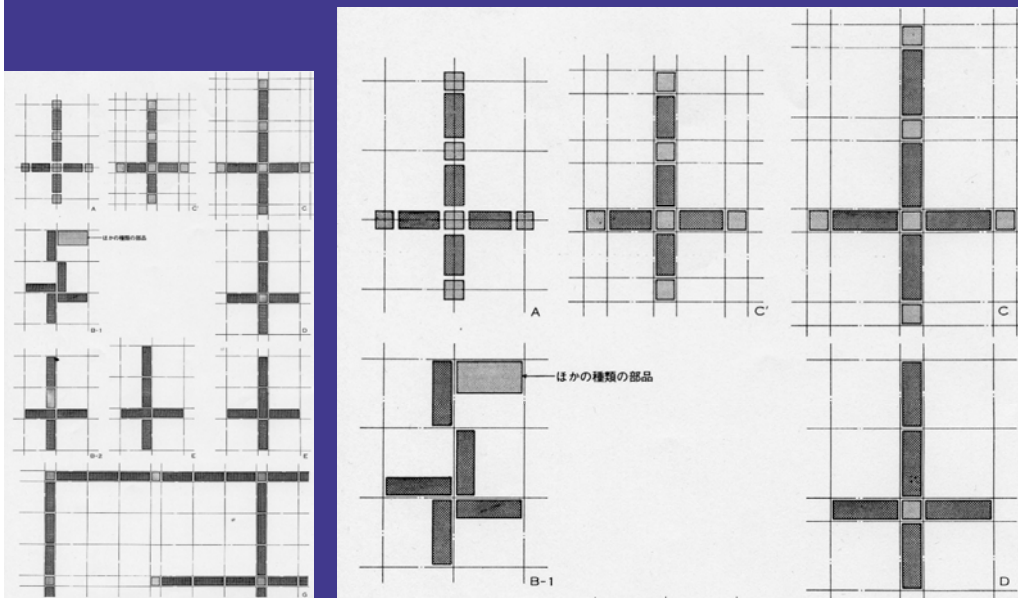


グリッドの機能

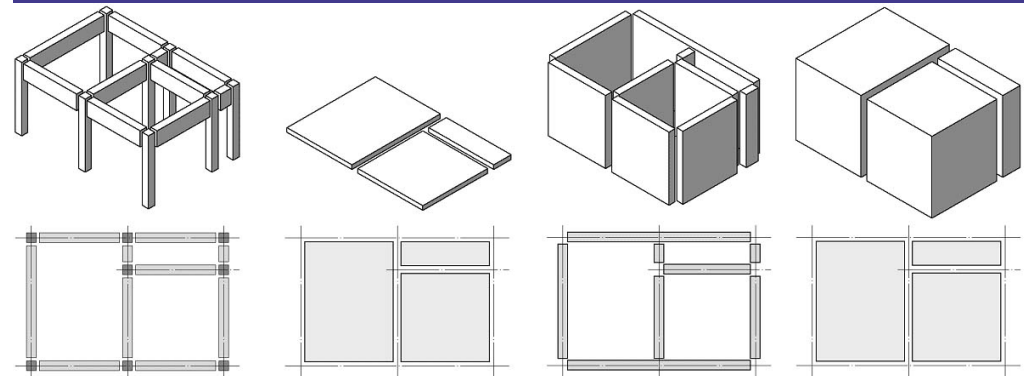


寸法調整の考え方

シングルグリッド と ダブルグリッド



建築構成材の4つのタイプ



建築構成材と基準線 reference lines

センチュリー・ハウジング・システムの開発
CHS 住宅の長期耐用化に関する調査研究

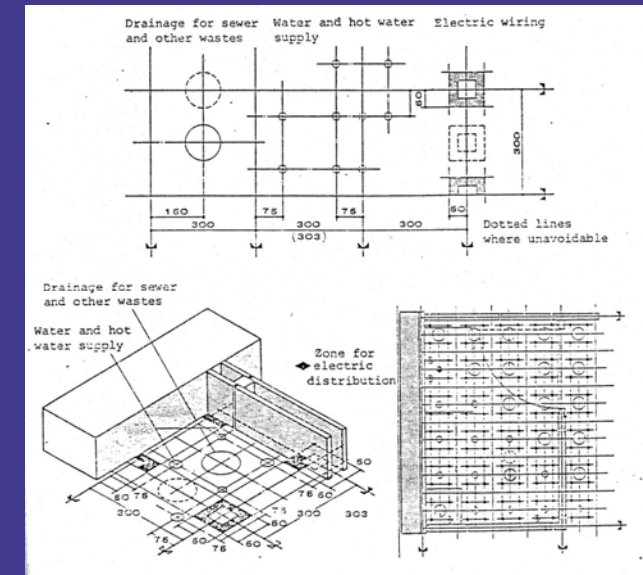
住宅の総体としての耐用年数を長くする研究

耐用年数型 8年型 6年～ 12年
60年型 50年～100年

百年住宅 センチュリーハウジングシステム

1980年 深尾は二年度目から参加

CHS 住宅の長期耐用化に関する調査研究



1983年

ISO TC59 SC1

住宅の面積の測り方に関する国際規格
内法か 心々か

ヨーロッパ規格と国際規格 米国の立場

JIS A0001 モジュール

100mm よりは 150mm を

1989年頃

寸法調整に関する議論

Modular coordination
Dimensional coordinationコルビュジェのモデュロールに代表される
建築意匠上の比例を中心とした議論と欧州経済共同体を中心とした
工業化のための寸法の標準化のための議論

欧州におけるモジュラーコーディネーション

I M G インターナショナルモジュラーグループ
International Modular GroupC I B W24 モジュラーコーディネーション
International Council for Research and Innovation in
Building and Construction Working Group 24I S O T C 5 9 S C 1
International Standard OrganizationI S O の M C 1 M = 1 0 0 m m
コーディネータの主導権争いが起き 1 9 9 0 年以降 停滞

コルビュジエ の モデュロール

黄金比とは

$$(1 + \sqrt{5}) / 2 = 1.618$$

$$\sqrt{5} = 2.2360679 \quad ?$$

黄金比の長方形 は美しいか？

黄金分割 は美しいか？

等比のリズム

ロジャー・ペンローズ博士
による ペンローズタイル

非周期的タイル張

黄金比の世界

矢尻 と 洋風

1984年



ペンローズタイル 非周期的タイル張り模様

1984年 自然界における五角対称形の発見

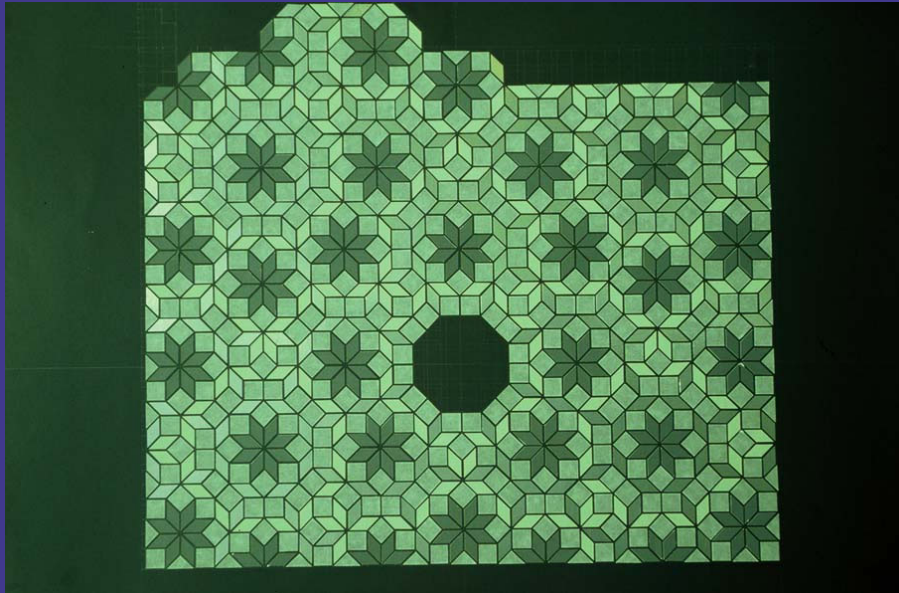
2011年 シェヒトマン博士ノーベル賞受賞

準結晶 クワジクリスタル

45度と90度の準結晶の発見 小川 泰

 $\sqrt{2}$ の世界

武蔵大学科学情報センター 非周期的タイル貼り



中大規模木造へ向けて

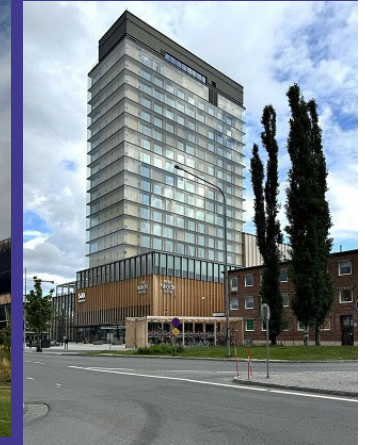
新建築10月号



2017年 カナダ



2019年 ノルウェー



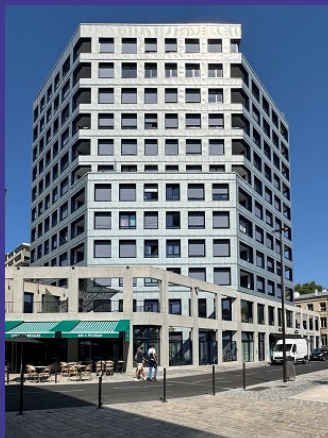
2021年 スウェーデン

中大規模木造へ向けて

新建築10月号



2022年 オランダ



2025年 フランス



2025年 オランダ

日本建築学会

建築に関する
学術・技術・芸術
の進歩発達を図り
文化の向上に寄与すること
を目的とした

日本最大級の学術団体